

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月6日
東

上場会社名 株式会社卑弥呼 上場取引所
 コード番号 9892 URL <http://www.himiko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 柴田 一
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部アシスタント (氏名) 石川 哲康 (TEL) 03-5485-3711
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	3,173	△14.1	49	△81.4	144	△56.1	204	3.2
26年3月期第3四半期	3,696	△24.5	265	△55.9	328	△50.1	198	△50.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第3四半期	27.20		—					
26年3月期第3四半期	25.66		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	14,040	13,264	94.5
26年3月期	14,646	13,752	93.9

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 13,264百万円 26年3月期 13,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,030	△13.4	55	△83.6	155	△63.8	215	△13.4	28.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期3Q	12,984,233株	26年3月期	12,984,233株
27年3月期3Q	5,709,248株	26年3月期	5,259,679株
27年3月期3Q	7,516,496株	26年3月期3Q	7,724,638株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日本銀行による追加金融緩和を受け、輸出関連企業を中心に収益の回復や雇用環境の改善が見られるなど緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、円安による輸入コストの上昇や、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動により個人消費に弱さが見られ先行きは依然として不透明な状態が続いております。

婦人靴業界におきましては、消費税引き上げに伴う消費マインドへの影響と、豪雨や大型台風の上陸が重なるなどの天候不順による販売不振、また円安による原材料価格の上昇など依然として厳しい状況が続いております。

このような事業環境のもとで、当社はマーチャンダイジング力の向上、国内靴メーカーとの関係強化及び店頭でのフィッティングを中心としたコンサルティングセールスの推進に努めるとともに、平成26年10月以降はより一層市場競争力のある商品を開発するべく商品原価率の見直しを行い業績回復へ向けて巻き返しを図ってまいりました。

しかしながら、春夏商戦においては、例年売上の柱となってきたサンダルの需要減に加えて、当社の品揃えが薄いスニーカーの流行、セール商戦が盛り上がり欠けたこと等も重なり、当初想定以上の苦戦を強いられました。また、秋冬商戦においては、立ち上がり時期に大型台風が直撃するなど低調に推移したことから、例年より早く11月に前年持ち越し商品のセール販売を開始するなど苦戦が続いております。

一方、収益性の高いweb事業部門においては、従来のECモール経由の販売が引き続き好調であることに加え、平成26年8月にオープンした自社ECサイト「卑弥呼Online Shop」における販売が順調に推移しております。今後は実店舗とECの顧客情報の統合を進め、チャンネル間での相互送客による売上拡大を目指してまいります。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,173百万円(前年同四半期比14.1%減)、営業利益は49百万円(同81.4%減)、経常利益は144百万円(同56.1%減)となりました。四半期純利益は投資有価証券売却益174百万円を計上したことにより204百万円(前年同四半期比3.2%増)となりました。

なお、当第3四半期累計期間の店舗出退店数は、出店2店舗、退店5店舗となり、当第3四半期会計期間末の店舗数は90店舗となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度に比べ606百万円減少し、14,040百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加2,162百万円、有価証券の減少500百万円、投資有価証券の減少647百万円、長期預金の減少1,100百万円、役員に対する保険積立金の減少209百万円等によるものであります。

負債につきましては、前事業年度に比べ117百万円減少し、776百万円となりました。主な増減は、買掛金の減少142百万円、未払金の減少94百万円等によるものであります。

また、純資産につきましては、前事業年度に比べ488百万円減少し、13,264百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少181百万円、自己株式の増加382百万円等によるものであります。

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ62百万円増加し、当第3四半期会計期間末には468百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動の結果獲得した資金は173百万円(前年同四半期比42百万円増)となりました。これは主に、税引前四半期純利益312百万円、投資有価証券売却益174百万円、仕入債務の減少額142百万円等によるものであります。

投資活動の結果獲得した資金は656百万円(前年同四半期比263百万円増加)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出5,000百万円、定期預金の払戻による収入4,000百万円、有価証券の売却による収入1,000百万円、投資有価証券の売却による収入932百万円等によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は767百万円(前年同四半期比365百万円増加)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出382百万円、配当金の支払額384百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年2月2日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました当期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,905,926	7,068,182
売掛金	415,087	368,305
有価証券	1,000,000	499,864
商品	573,119	494,563
繰延税金資産	60,511	60,511
その他	97,118	190,238
流動資産合計	7,051,763	8,681,666
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	211,845	206,975
土地	1,099,220	1,099,220
その他(純額)	61,924	50,015
有形固定資産合計	1,372,989	1,356,211
無形固定資産		
借地権	1,146,966	1,146,966
その他	50,408	44,782
無形固定資産合計	1,197,374	1,191,749
投資その他の資産		
投資有価証券	2,295,946	1,648,836
長期預金	1,800,000	700,000
繰延税金資産	43,862	2,340
敷金及び保証金	389,818	193,246
役員に対する保険積立金	435,585	225,800
その他	59,387	40,806
投資その他の資産合計	5,024,600	2,811,031
固定資産合計	7,594,965	5,358,992
資産合計	14,646,728	14,040,658

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	244,940	102,709
未払金	171,943	77,689
未払法人税等	—	49,228
賞与引当金	33,000	15,898
返品調整引当金	63,250	96,796
ポイント引当金	11,270	14,210
その他	37,523	77,304
流動負債合計	561,928	433,835
固定負債		
退職給付引当金	133,623	139,896
役員退職慰労引当金	148,543	157,033
資産除去債務	31,852	27,540
その他	18,055	17,911
固定負債合計	332,074	342,381
負債合計	894,003	776,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,589,052	2,589,052
資本剰余金	2,718,862	2,718,862
利益剰余金	16,490,243	16,308,488
自己株式	△7,118,570	△7,501,129
株主資本合計	14,679,588	14,115,274
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	30,253	106,283
土地再評価差額金	△957,116	△957,116
評価・換算差額等合計	△926,862	△850,832
純資産合計	13,752,725	13,264,441
負債純資産合計	14,646,728	14,040,658

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	3,696,056	3,173,782
売上原価	1,877,410	1,697,191
売上総利益	1,818,645	1,476,590
販売費及び一般管理費	1,553,181	1,427,248
営業利益	265,463	49,342
営業外収益		
受取利息	21,765	46,934
受取手数料	30,926	25,366
その他	10,403	23,111
営業外収益合計	63,095	95,412
営業外費用		
支払手数料	—	474
営業外費用合計	—	474
経常利益	328,559	144,280
特別利益		
投資有価証券売却益	—	174,571
特別利益合計	—	174,571
特別損失		
減損損失	9,751	6,806
特別損失合計	9,751	6,806
税引前四半期純利益	318,807	312,045
法人税等	120,605	107,572
四半期純利益	198,201	204,472

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	318,807	312,045
減価償却費	69,623	63,579
減損損失	9,751	6,806
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△174,571
引当金の増減額(△は減少)	5,714	34,145
受取利息及び受取配当金	△27,045	△53,727
売上債権の増減額(△は増加)	△93,206	46,781
たな卸資産の増減額(△は増加)	200,232	79,571
仕入債務の増減額(△は減少)	△72,342	△142,231
その他	44,597	△44,546
小計	456,132	127,854
利息及び配当金の受取額	29,506	66,859
法人税等の支払額	△354,775	△75,369
法人税等の還付額	—	54,153
営業活動によるキャッシュ・フロー	130,863	173,498
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,600,000	△5,000,000
定期預金の払戻による収入	7,528,344	4,000,000
有価証券の取得による支出	△2,000,000	△499,864
有価証券の売却による収入	1,000,000	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△45,085	△54,071
投資有価証券の取得による支出	△507,750	—
投資有価証券の売却による収入	—	932,462
保険積立金の解約による収入	—	220,838
敷金及び保証金の回収による収入	22,247	122,856
その他	△4,865	△65,568
投資活動によるキャッシュ・フロー	392,891	656,652
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△189	△382,558
配当金の支払額	△384,953	△384,420
その他	△17,479	△915
財務活動によるキャッシュ・フロー	△402,622	△767,894
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	121,131	62,256
現金及び現金同等物の期首残高	639,028	405,926
現金及び現金同等物の四半期末残高	760,160	468,182

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年8月19日及び平成26年9月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、自己株式は単元未満株式の買取と併せ、当第3四半期累計期間において382,558千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が7,501,129千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は靴製品等卸・小売事業のほか、不動産賃貸事業を行っておりますが、靴製品等卸・小売事業の売上高及び営業利益の金額が、いずれも事業セグメントの合計額の90%を超え、報告セグメントは当該事業のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。